

### 【見守りについて】

高齢者の見守りにあたる人がどのように対応してよいか対応に苦慮するケースがあると聞くので、対応方法や対応体制について検討してはどうか。

見守りを進めるために、LSA的人材の育成に努めるべきではないか。

見守り、生活支援の提供を進めるにあたっては、財源確保が重要であるので、国からの財政支援も含めて、財源確保の方法について検討をすべきではないか。

### 【ユニバーサルデザイン、事故防止対策等について】

住戸内のバリアフリーだけでなく、市街地等へのアクセス確保が重要。お年寄りの引きこもり解消にも寄与する。

浴室等における寒さ対策、床材を柔軟なものとする等の住宅内における事故防止対策は重要であり、きめ細かな対策が普及することが重要。

### 【高齢者住宅対策の対象について】

高齢者予備軍も含めて、介護予防を意識した住宅対策を行うべきではないか。

持家層が重点配慮高齢者となって施設需要に結びつくことを防ぐための対策や、お金を出して住まい・ケアを選択する層に対する住まいの提供を進めるべきなのではないか。

### 【住まいとまちの一体整備、まちづくりと合わせた福祉施設整備について】

高齢者住宅・施設については、来訪者や介護職員のこととも考えて、まちなかに立地させることが重要。まちづくりに合わせて、福祉施設を整備するなど、高齢社会に即したまちづくりを進めていくことが重要。今後は介護施設、病院などを地域のまちづくり、再生の核として積極的に整備すべき。

### 【その他】

住宅事業者や介護事業者のみならず、多様な主体の連携を進めるべきではないか。

バリアフリーだけでなく、耐震や温熱環境対策等についても、進めるべきではないか。